



## 教員を志望する学生の思いに応えることができるか

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

近年は教員を志望する学生等が激減しているため、多くの自治体において教員募集のパンフレット等をウェブサイトに掲載しています。次は「〇〇（自治体名）の先生になろう」という、ある教育委員会のウェブサイトに紹介されている「先生の1日、1週間」のパンフレットの一部です。

### 【小学校教諭（特別支援学級担当）の1週間】

	時間	月	火	水	木	金	土
起床	5:45	朝起きたら、身支度をし、朝食をとりながら、学校に着いたら何をするのかを考えたり、登校してくる子どもたちの様子を想像したりして、1日の予定を確認します。					
通勤	6:50～7:10	片道20分程度かけて、自転車で通勤しています。適度な運動にもなり、頭がすっきりした状態で学校に到着することができます。					
学校到着	7:10	朝は窓を開けて、教室を換気し、机を整頓します。きれいな空気が通ったり、机が整頓されていたりすると、教室が爽やかな空気に包まれます。児童が1日を元気よく過ごせるようにするために大切なことです。					
職員朝会	8:15	校長のお話の後、学校全体で周知すべき連絡事項の確認をします。					
1時限	8:45～9:30	朝の学習					
2時限	9:35～10:20	体育	外国語	体育	道徳	生活単元	学校公開日 ※年間8日間
3時限	10:40～11:25	算数	国語	図画工作	算数	体育	
4時限	11:30～12:15	国語	算数	図画工作	国語	自立活動	
		給食					
	13:00～13:20	昼休み					
5時限	13:40～14:25	音楽	生活単元	生活単元	音楽	図書	
6時限	14:30～15:15	委員会活動 クラブ活動 (月1回ずつ)	総合		生活単元	総合	
放課後①		打合せ 学級事務	・校内研究 ・市研究会 ・職員会議		学年会	分掌部会 (月1回程度)	
	15:45～16:30	休憩時間					
放課後②		保護者へ連絡、学級間・交流学級と打合せ、学級事務、学校対抗スポーツ大会練習（時期により）全てが終わったら、自分の仕事（教材研究）に取り掛かります。					
退勤		退庁後は、整骨院へ体のメンテナンスに行きます。行事前はどうしても業務量が多くなるので、帰宅が遅くなることもあります。食事は自炊することを心掛けていますが、疲れているときは簡単に済ませ、就寝時間を確保します。					
就寝	23:30～0:30						

これを見ると、朝7時10分から実質的な勤務がスタートします。おそらくこの学校の勤務時間は、8時15分から16時45分です。放課後②の内容が、15分間で終わることはないので、時間外勤務をすることになります。そして「退勤」の欄に示された内容から、とても過酷な勤務状況が想像できます。これが公式のウェブサイトに掲載されています。

本校は10月に教育実習生（大学生）を受け入れることになっています。先日、本人と話しましたが、教職に対して純粋な思いをもっていました。そんな若者の思いにいかに応えていくか、改めて教育行政はもとより、管理職の「働き方の認識」を見直す必要があると感じました。